

## 6 - 2 中国東部・近畿北部・北陸地域における地震活動 (1988年7月～12月)

Seismicity in the Eastern Chugoku, Northern Kinki and Hokuriku Districts,  
Southwest Japan (July - December, 1988)

京都大学防災研究所 鳥取微小地震観測所

北陸微小地震観測所

京都大学理学部 阿武山地震観測所

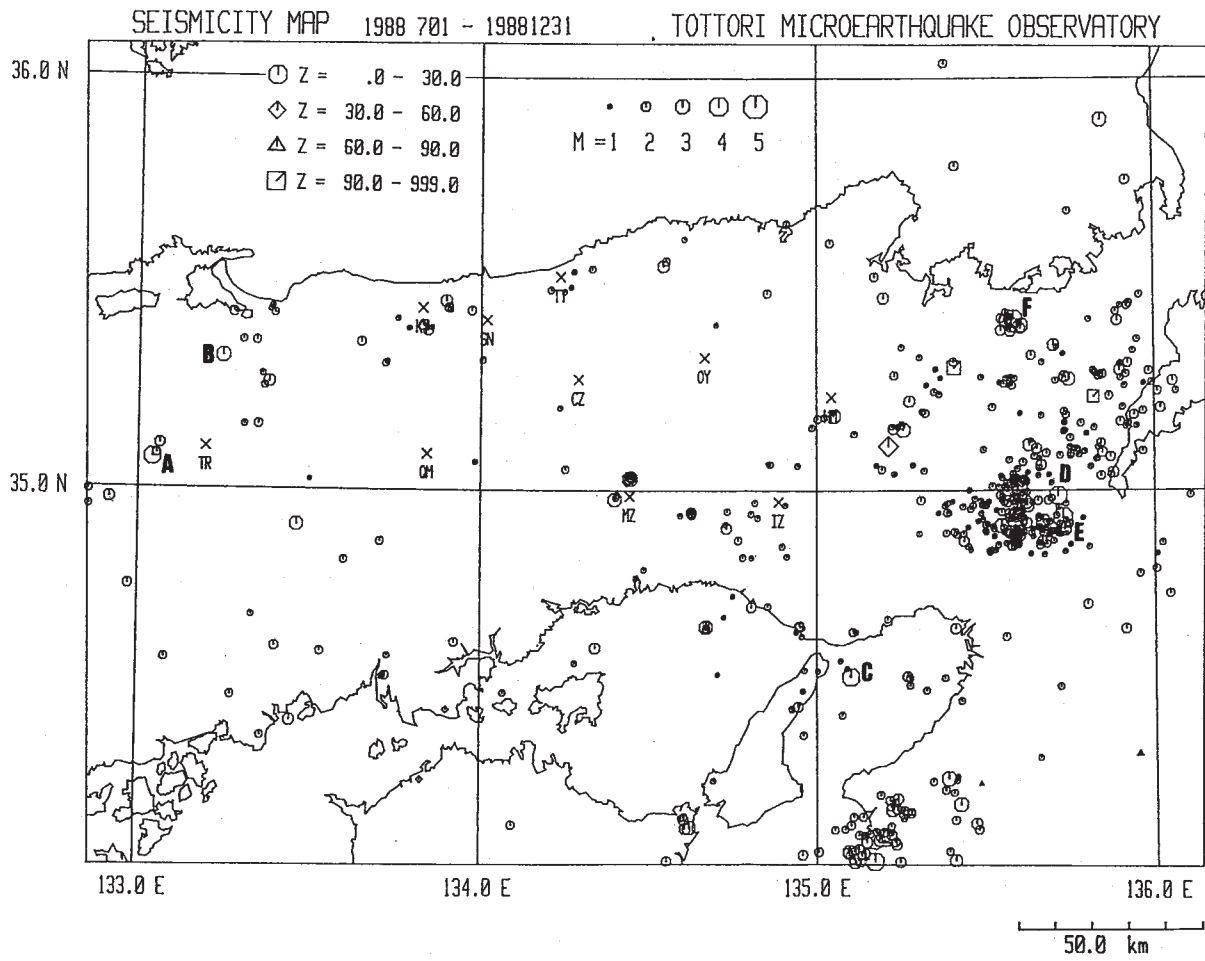
Tottori Microearthquake Observatory and Hokuriku  
Microearthquake Observatory, Disaster Prevention Research Institute  
Abuyama Seismological Observatory, Faculty of Science  
Kyoto University

この期間も、全般的に地震数はそれ程多くなく、1988年前半期の静穏さが継続していると云える。ただし、この地域としては大き目の地震が分散して起こっているようにも見える。

第1図の鳥取微小地震観測所の観測結果で目立つ地震として、A：12月20日、M3.6、B：12月24日、M3.1、C：7月16日、M3.7、D：9月9日、M3.8、E：12月13日、M4.2、F：8月25日、M3.8が主なものである。なおこの期間から、明らかな碎石発破は図から除いてある。

第2図の阿武山地震観測所の観測結果でFと記されているものは第1図のものと同じである。

第3図の北陸微小地震観測所の観測結果において、Fは上記のものと同じである。その他目立つものは、G：7月16日、M3.3、H：12月13日、M3.3などである。



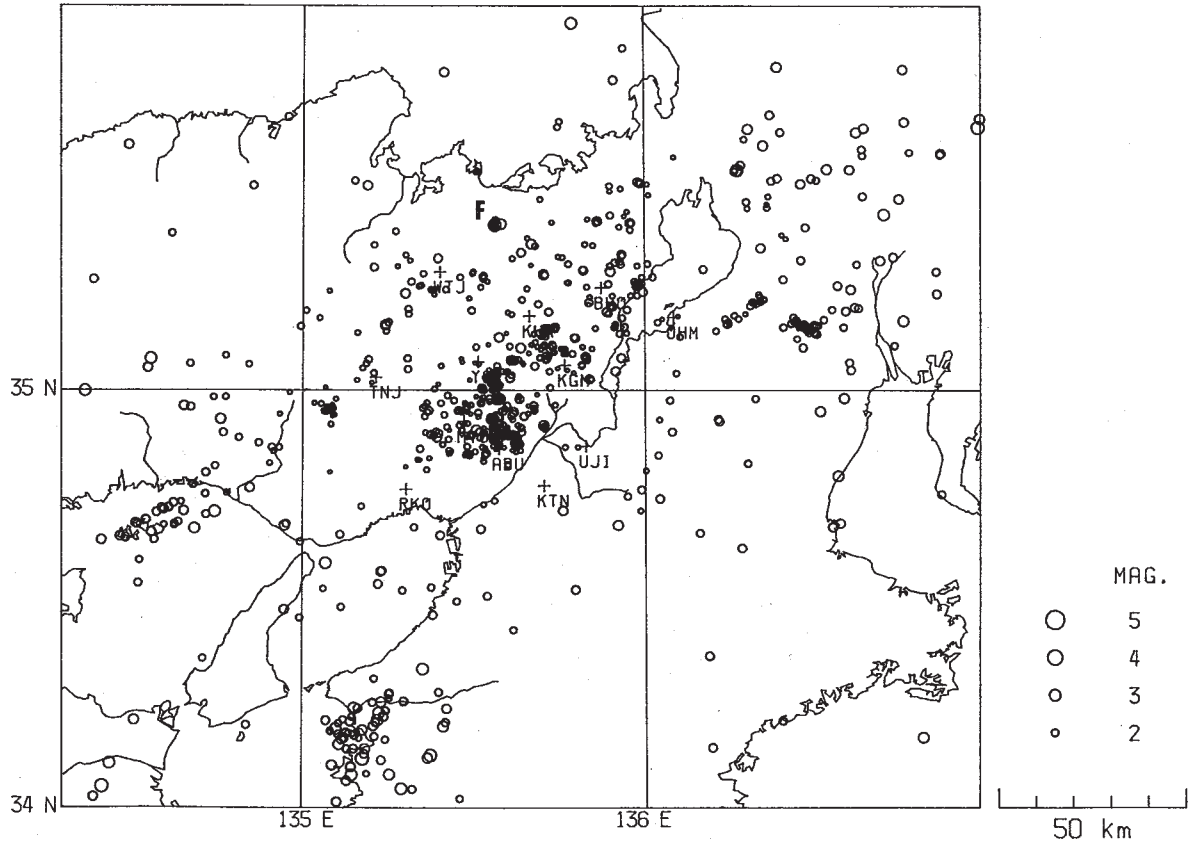
第1図 鳥取微小地震観測所による震央分布図 (1988年7月~12月)

Fig. 1 Seismicity map by the Tottori Microearthquake Observatory (July - December, 1988).

DISTRIBUTION OF EPICENTERS

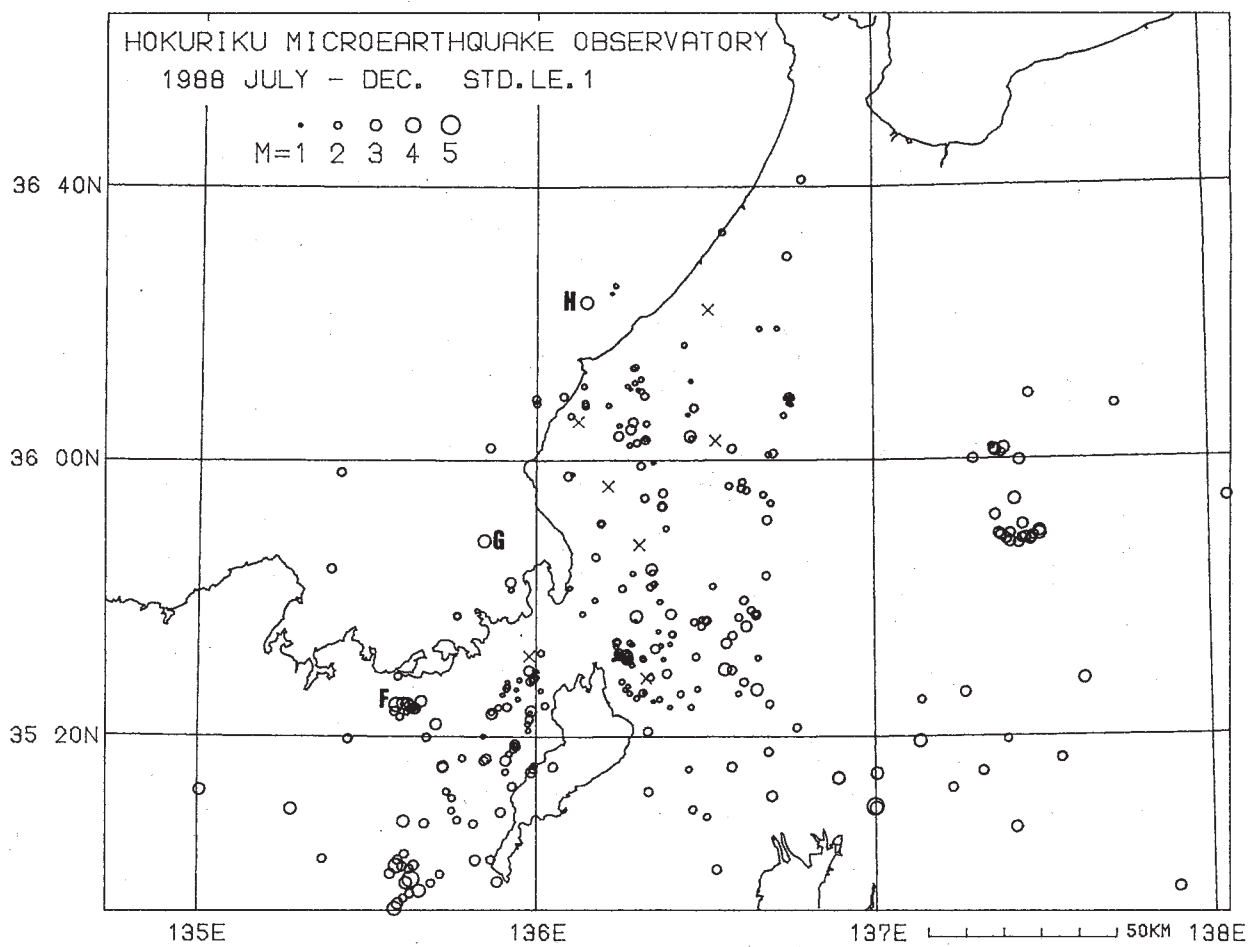
1988 JULY-DEC.

N= 993



第2図 阿武山地震観測所による震央分布図 (1988年7月~12月)

Fig. 2 Seismicity map by the Abuyama Seismological Observatory (July - December, 1988).



第3図 北陸微小地震観測所による震央分布図（1988年7月～12月）

Fig. 3 Seismicity map by the Hokuriku Microearthquake Observatory (July - December, 1988).